

よえもん

-yoemon-

今月のことば

いよいよ
新しい年の始まりです!
今年の抱負は決めましたか?

2014年1月 第9号

シリーズ
よえもん

大洲のよえもんさん
一詩や書を習う



よえもんさんが14歳の時、やしきの近く
にあるお寺に文字のけいこ
詩の作り方を習いに行っていました。
このお寺は普溪院という



臨済宗のお寺で、よえもんさん
のおいさんが仕えたお殿
様・加藤光泰をまつている
ところ。このお寺には、天梁和尚という

和尚さんがいて、よえもんさんはこの和尚さん
から詩や書を習っていました。

よえもんさんの詩や書が上達してきた頃、
和尚さんがよえもんさんの詩や書について
ほめないことを不思議に思ひ、ある人が
訳をたずねました。

すると、和尚さんは、「よえもんさんは詩や書が
たいへん優れています。しかし、上手だ」とほめ
られると、自分は上手だと思ひ込んでしまっ
て、努力をする気持ちがなくなってしまうがちです。

そのため、よえもんさんの詩や書について本人には

『優れている』と伝えていないのです。
と、お答えになったそうです。
大きくなったよえもんさんの書く本には
頻繁に禅語が使われています。

よえもんさんにとって、天梁和尚
から学んだことは、生涯に渡り
活かされています。



書判田瑞穂さん
出典・藤樹先生全集
P362

志つよく引きたて
はげむべし
石に立つ矢の
ためし聞くにも

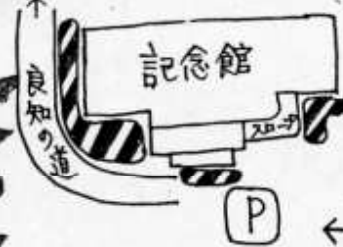
『なによりも志をつよくはげむことが大切
です。「石に立つ矢」の言葉もあるように
心をこめて一つの事にあたれば、どんな
ことでもできるようになるのです。』という
藤樹先生の和歌です。
「石に立つ矢」という言葉が出てきますが、
これは、中国の古い話を元にした言葉です。
矢で石を射通すというような不可能に
思えることが可能になるという意味です。

記念館
だより

注意!!

これからの季節、多くの雪が降り、
雪化粧をした藤樹神社・陽明園は
いつもと違った賑やかな雰囲気です。
しかし、雪が多く積
もると、屋根からたぐみ
の雪が落ちて来るため
危険です。
注意をお願いします。

陽明園



注意する場所

記念館に新しい職員が
赴任しました。
早藤典子
よろしく願います。



近江聖人 中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69

TEL・FAX (0740)-32-0330

中江藤樹の顔展 開催中!!

